

たんぽぽだより



2019年 2月号

1月20日のすこやか子育て塾はたくさんの方に参加して頂きました。遠くは福岡・佐賀から来られた方もいらっしゃいました。参加して頂いた方ありがとうございました。

他にもワクチンの事や皮膚症状に関して等まだまだ聞きたい事がある。とおっしゃる方もいて次の開催も検討したいと思います。

現在たんぽぽでもインフルエンザが流行っていますが、子どものうちは病気にかかる事で身体は、どう病気に対処するか学んでいるそうです。だから子どもってよく病気にかかるのですね。AIなど人工知能も発達していますが、人間の身体はやはりそれ以上に素晴らしいのだと思います。もっと自分の身体を信じましょう。

園内研修で「ほいくしんり」の機関誌を読みあいました。

保育心理士の講座では、**子どもに寄り添い、その思いを感じ取り一緒に共有する事**が大事だと言われます。

子どもがおとなしいからテレビやゲームをさせている方もいらっしゃるかもしれません。

ただ子どもだけでそうする事では子どものころは育ちません。しかし逆に**そばで一緒にやったり、気持ちを言葉に表すことで共有感が出て子どもは安心できます**。(しかしテレビやゲームを薦めてるわけではありませんよ。たんぽぽではノーメディアを推進しています)。

「子どもだから言ってもわからない」では無く、ただ子どもは言葉の使い方がわからないだけなんです。その場を共有することで言葉の使い方がわかるようになるんです。

全ての事を共有することは難しいかもしれませんが。でも【一緒にできた嬉しいなあー】という体験を少しの時間でも作って欲しいです。

一番良いのは、こどもさんを膝の上にだっこしながら絵本を読む事です。言葉も覚えますし感情の共有も出来ます想像力も養われますよ。寝る前に1冊でもいいので読んであげてくださいね。子どもにとっていい事しかありません。

今月の目標:寒さに負けないからだづくり

ねらい:『できた』という達成感から自信をつける

つぼみ組【0歳児】:できるだけ日光や外気に触れたり、全身運動をして遊び、寒い冬を元気に過ごす。友だちと触れ合いながら遊ぶことを楽しんだり、気にいったおもちゃでじっくり遊ぶ。

もも組【1歳児】:寒さに負けず、戸外で体を動かして遊ぶ。

ゆり組【2歳児】:自分でできることを増やして「できた!」を喜び合い、自己肯定感を高める。

今月の保育内容

養 護

つぼみ組：日々の気温の変化が大きくなるので、その日の天気や気温に応じて衣服を調節し、心地よく過ごせるようにする。体を十分に動かして遊び、心地よい眠りにつけるよう配慮する。感染症を防ぐため、こまめに換気を行い、健康に過ごせるようにする。

もも組：室温、湿度などを調節し、換気や消毒を行い感染症などの予防に努める。子どもの自分でやりたいという気持ちを大切にし、意欲的に生活できるように援助する。

ゆり組：食事、排泄、衣類の着脱、身の回りを清潔にするなど、子供が意欲的に生活できるようにする。一人一人の子供が主体として受け止められ、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。

教 育

つぼみ組：身の回りのことに興味を持ち、オムツ・ズボンの着脱などを保育者と一緒に行ってみようとする。・全身を使った遊びを十分楽しむ。

外気に触れ、散歩や探索遊びを楽しむ。手や指先を使って遊ぶことを楽しむ。保育者を真似て、歌やリズムに合わせて手や体を動かす。

(1歳以上児)口の中の食べ物がなくなってから、次のものを口に入れるよう声掛けをし、よく噛んで食べる事を知らせていく。友だちに興味を持ち、関わろうとする。片言で盛んに話すようになり、話すことを楽しむ。言葉やしぐさで気持ちを伝えることを喜ぶ。

(1歳未満児)スプーンを使ってみたり、手づかみ食べをし、自分で食べる意欲を育てる。体調を見ながら無理なく離乳食を進めていく。保育者との触れ合い遊びで、声を出して笑ったり関わりを楽しむ。保育者の身ぶりや言葉を真似して遊ぶ。話しかけられたり、あやされることを喜び、喃語を楽しむ。

もも組：自分で食べようとする姿を見守りながら、さりげなく援助するなど一人一人の発達に合わせてスプーンの持ち方や食器に手を添えるなどを伝えていく。繰り返しのある絵本を選び、繰り返し読んで絵本に出てくる言葉の模倣を一緒に楽しむ。生活や遊びの場面で歌や手遊びを繰り返し友達と一緒に歌ったり、保育者の振りを真似たりする楽しさを感じられるようにする。

ゆり組：楽しい食事を心がけながら食べ物への感謝をもつ。衣服の着脱など自分で出来ることを増やし、自信を持たせる。異年齢児への興味や関心が高まり関わる心地よさを感じる。人の言葉や話などをよく聞き、自分の体験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。節分の行事を楽しみ、その後も遊びに結びつけて様々な行事を楽しむようにする。保育者と一緒にハサミの使い方を知り、出来た作品を見て喜ぶ

お願い

現在インフルエンザが流行っていますが、たんぽぽでも罹患している子どもさんが出ています。どこから感染するのかは特定できませんが、もし御家族に患者が出た場合は、お子様の様子に配慮が必要になりますので、園の方にもお知らせください

保育サロン
たんぽぽ